

## 《多施設共同研究》

ソラフェニブ、スニチニブの効果予測バイオマーカーの探索  
(CROSS-J-RCC 付帯研究)

### 【組織】

研究組織母体：山形大学 腎泌尿器外科学講座  
研究代表者：富田善彦教授 (山形大学腎泌尿器外科学講座)

参加施設：旭川医科大学、札幌医科大学、岡山大学、北海道大学、千葉県立がんセンター、山形大学、徳島大学、東京女子医科大学、名古屋大学、宮崎大学、鹿児島大学、広島大学、琉球大学、岩手医科大学、東北大学、函館五稜郭病院、防衛医科大学校、日本大学、秋田大学、弘前大学、北里大学、藤田保健衛生大学、香川大学、慶應義塾大学、天理よろづ相談所病院、金沢大学、島根大学、山口大学、長崎大学、山梨大学、社会保険中京病院、四国がんセンター、神奈川県立がんセンター、京都大学、東京大学、広島市民病院、埼玉医科大学、鳥取大学、横浜市立大学

### 【研究の目的】

現在、我々は、山形大学泌尿器科を代表施設として、有転移腎癌の一次治療としてソラフェニブ、スニチニブのいずれが良いか探索する多施設共同無作為化試験(CROSS-J-RCC)を行っています。このCROSS-J-RCCに登録した症例のうち原発巣を摘出した症例に対し、原発巣の免疫組織学的染色を行い、発現蛋白を解析し、ソラフェニブ及びスニチニブの効果予測バイオマーカーを比較、探索する多施設共同研究を行い、治療に貢献することを目的とします。

琉球大学泌尿器科も上記のテーマの多施設共同研究を行うことになりました。

本研究では、疫学研究に関する倫理指針第3-1-(2)-イ、既存生体試料の利用として臨床研究に該当すると考えられるため、研究対象者からのインフォームド・コンセントを受けることを必ずしも要しませんが、患者の意思を尊重しの希望があれば何時でも調査への研究対象者から除外することが出来ます。患者が調査に参加しなかったことや途中で参加を取りやめることで、不利益になることは一切ありません。

### 【保有する個人情報に関して、問い合わせ連絡先】

琉球大学 医学部医学科器官病態医科学講座 泌尿器科分野 098-895-3331 (代表) 内線1186  
大城吉則